

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48・49	重度化、高齢者に伴い外出があまりできていない	外への散歩時に行き季節感を味わってもらう。外出が困難な方は施設内で季節を感じていただけるようにする。	壁面には季節感のあるものを利用者様と職員で作成し飾る。また季節の花を飾るようにする。外出ができる方については、買い物等の外出や散歩に行けるようにする。	12ヶ月
2	48・49	重度化、高齢者に伴い外出があまりできていない	室内活動の充実	プログラムを作成し、1週間に1回フロア全体で楽しめる物を取り入れて行く	12ヶ月
3	48	高齢化に伴うADLの低下が見られる。部屋で横になり過ごす入居者様、フロアで過ごす入居者様など入居暦の違いもあるが、入居者様同士の接する機会が減っている。また、調理や洗濯物たたみなど入居者様と職員が共に行う機会が減っていることが課題である。	その日、行くことがない・興味がないから部屋で横になっている入居者様に対して、各々の好きなこと、関心のある事を聞き取り活動として取り込む。入居者様同士、職員など会話をしながら日常を過ごす事を目標とする。	頻繁な遠出、大勢の入居者様での外出は困難である。1ヶ月に1度手作りおやつを作ることを目標とする。普段から、漬物や本、栄養ドリンクがほしいなど日々要望がある。近所のスーパーへおやつ材料、日用品の購入行い、おやつ作りを共に行い、皆と接する機会を設ける。	12ヶ月
4	2	地域との外出、来所を交えた交流があまり取れていない。	地域資源として近所に大学があるため、大学への行事時の外出や当施設行事時の学生来所を声かけ行い、地域の方との交流を行うことを目標とする。	大学の学園祭や施設の夏祭りに学生への参加呼びかけを行い交流を図る。大学のOB生が職員として勤務しているため、継続した交流を目標達成とする。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。